

令和 7 年度の主な取組

施策目標 1

市民の暮らしと文化芸術とのつながりを深める

やまと芸術祭一般公募展〔絵画・書・写真・短歌・俳句・川柳〕の開催【文化振興課】

- ・令和 6 年度までは、秋に絵画・書・写真の 3 部門、春に短歌・俳句・川柳の 3 部門の公募展を開催していました。
- ・令和 7 年度は、上記 2 つの公募展を 1 つに集約し、6 部門の公募展を秋に開催しました。
- ・多彩なジャンルが一堂に会することで、互いの魅力を引き立て合い、より多くの方に文化芸術に親しんでいただける機会になりました。
- ・また、短歌、俳句、川柳の 3 部門については、全作品を一冊の書籍にまとめ、公募展会場で配布するとともに、図書館でも貸出ができるようにしました。これにより、何年経っても手に取ることができ、次の世代へも伝わっていくことになります。



施策目標 2

地域の文化を大切に守り、次代につなぐ

大和市つる舞の里歴史資料館 特別展示【文化振興課】

- ・大和市つる舞の里歴史資料館の特別展示として、令和 7 年度は昭和 100 年および終戦 80 年という大きな節目にあたることから、本市の歩みを振り返る特別展示「やまと激動の昭和史」をシリウスギャラリーで開催しました。
- ・本展示では、交通網の発達や厚木基地の建設、そして戦争という歴史的事象に焦点を当て、それらが地域の風景や人々の暮らしにいかに関与したかを、貴重な資料とともに紹介しました。
- ・郷土の成り立ちに対する市民の理解を深め、次代へと継承する有意義な機会となりました。



施策目標 3

すべての子どもが文化芸術に親しめる環境をつくる

やまと子ども伝統文化塾・やまと伝統文化フェスティバルの実施【文化振興課】

- ・次代を担う市内の子どもたちが、日本の伝統文化を継続的に、かつ経済的負担なく学べる環境を整えるため、文化庁の補助金を活用した「やまと子ども伝統文化塾」を開催しました。
- ・令和7年度においては、新たに着物の着付け教室が加わり、計15教室が開講されました。各教室とも、市内で活動する伝統文化団体が指導し、お稽古の成果を「やまと伝統文化フェスティバル」で発表しました。
- ・伝統文化フェスティバルの来場者アンケートでは、「様々な伝統文化に触れられてとてもよかった」「小学生、中学生が真剣にお花や茶道に向き合っている姿に感動しました。このような体験は貴重だと思う」「小学生ぶりに書道をして楽しかった。これを機会に家でも書に触れてみようと思いました」などの声をいただきました。
- ・こうした機会を継続的に提供することで、子どもたちが日本の伝統的な技法や精神を学び、豊かな感性を育む土壌を醸成しています。



施策目標 4

文化芸術の振興を牽引する担い手を育てる

文化芸術顕彰授賞式およびミニ公演の開催【文化振興課】

- ・令和 6 年度より、顕彰制度の意義をより明確に示し、顕彰受賞者を広く市民に周知するため、文化芸術顕彰授賞式を毎年 11 月 3 日に開催されている市内 7 つの文化施設の合同イベント「やまとみらいまつり」のオープニングイベントの中で実施しています。
- ・令和 7 年度は、後半のミニ公演の出演者を過去の顕彰受賞者により、顕彰制度との一体感を高めるとともに、顕彰受賞者をより効果的に PR することができました。
- ・来場者アンケートでも、「大和市に様々な演奏者がいらっしゃることを知れて良かった」「一流の方が市内在住と聞きとてもうれしかったです」などの声をいただきました。



対話による美術鑑賞事業の実施【文化振興課】

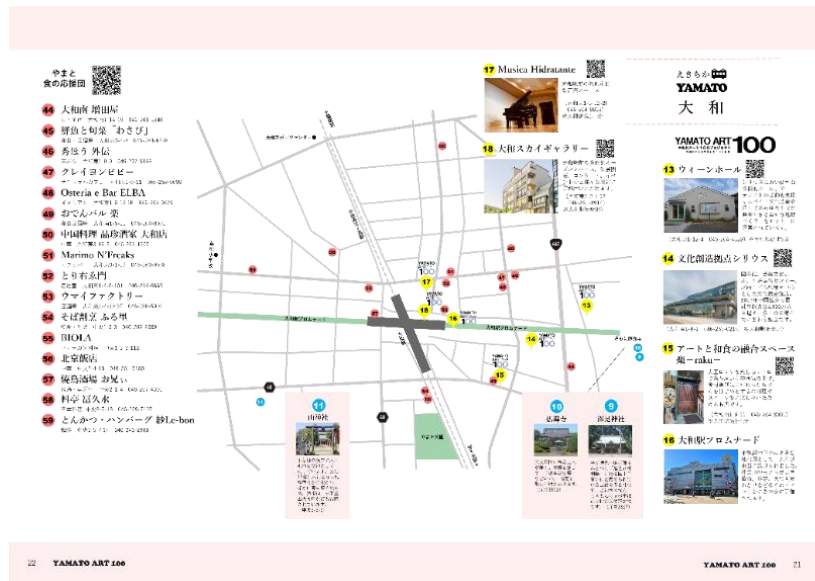
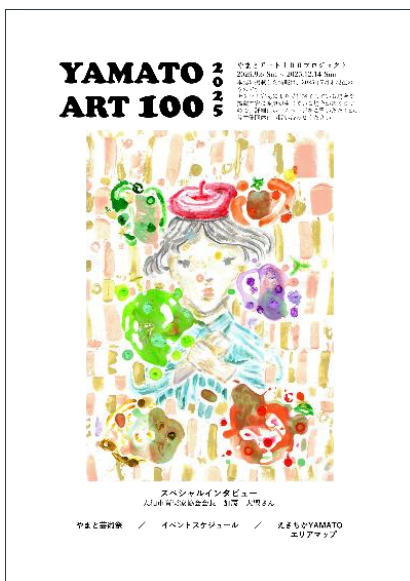
- ・対話による美術鑑賞事業は、子どもたちの感性を高め、豊かな情操を養うとともに、観察力や思考力、コミュニケーション力などを育成することを目的として、全 19 校の市立小学校で実施しています。
- ・同事業は、これまで、ボランティア団体の育成や小学校との調整・コーディネートを専門的な知識を有する NPO 団体に委託して実施してきました。
- ・一方、ボランティア団体は結成から 10 年が経過し、主体的に行える業務も増えてきたことから、令和 7 年度からは、専門的な知識が必要となる研修の実施はこれまで通り NPO 団体に、小学校との調整・コーディネートは、ボランティア団体に依頼しています。
- ・市民ボランティアが主体的に本事業を行うことは、文化芸術を支える担い手の育成という観点でもポジティブな効果があると考えられます。

施策目標 5

大和の文化芸術の魅力を内外にアピールする

YAMATO ART100 リーフレットの発行【文化振興課】

- ・市の文化芸術を広く発信し、アートで、人とまちを元気にすることを目的として、市内の文化芸術団体や行政などが秋に開催するさまざまなアートイベントをまとめたリーフレットを発行しています。
- ・令和 7 年度は、リーフレットの巻頭にやまと芸術祭グランドフィナーレ舞台の部の主催者のインタビュー記事を掲載することで公演への関心を高めました。また、イベント会場に加えて周辺の飲食店や市内の歴史スポットの情報を掲載することにより、他分野との連携を推進しました。



施策目標 6

多文化共生社会の実現を目指し、様々な文化に親しめる環境をつくる

大和茶の湯はじめを開催【文化振興課】

- ・日本の伝統文化である茶道の魅力を広く発信し、次代へ継承することを目的に、令和6年度より「大和茶の湯はじめ」を実施しています。
- ・令和7年度は、サブホールでの表千家・裏千家・江戸千家による席に加え、1階ロビーでは米軍厚木基地シャーリーランナム小学校とアーン小学校の教職員による茶席、メインホールホワイエでは子ども茶席を設け、多様な来場者が親しめる構成としました。
- ・また、市内の造園業者の協力により会場入口に茶庭を模した趣のある装飾を施したほか、大和市国際化協会との連携により、外国人市民への広報を強化したことで、多くの外国人の来場者を迎え、国際交流の場としての側面も推進できました。
- ・茶道の魅力を多くの市民に伝えるとともに、多文化共生の視点を取り入れた新たな伝統文化の発信を実現できました。



大和市光明市子ども絵画交流展を開催【国際・市民共生課】

- ・海外友好都市である光明市（大韓民国）との交流事業の一環として「大和市光明市子ども絵画交流展」を開催しました。
- ・「私の住む美しいまち」をテーマに、大和市および光明市の子どもたちから作品を募集し、シリウスギャラリーで展示しました。今後は光明市においても同じ作品を用いた展示会を開催する予定です。
- ・子どもたちが絵画を通して互いの文化や暮らしを理解し合い、国際交流の第一歩を踏み出す機会となりました。